

生駒北小中学校だより

令和5年度 3月号



メジャーリーガーの大谷翔平選手から寄贈された大谷グローブ。小学生が、体育の時間に使っています。



小学校3年生 版画作品
「いろいろうつして」海山



風はまだまだ冷たいものの、日差しに春の訪れを感じるようになってきました。小学校1年生の児童が植えたチューリップが芽を出し、地域のボランティアの方が校門横の花壇に植えて下さった花々も、心なしか勢いが出てきたように思います。中学校3年生の卒業式の練習が始まります。いよいよ年度末です。

先日の小学校各学年最後の授業参観・懇談には、大勢の保護者の皆様に来校していただき、ありがとうございました。この一年間の子どもたちの成長を、一人一人の発表や授業への取組の様子から感じていただけたことと思います。年度末を迎えた今だからこそ、子どもたちにも一年を振り返り、「何ができるようになったのか」「これから挑戦してやってみたいことは何か」など、いろいろな視点で成長を実感してほしいと思っています。どんなに小さなことでも自分の成長を感じて認める。そして、その成長のために頑張った過程を認める。そういった振り返りをする事で、子ども達は自分を誇りに思うことができます。そして、そのことが、子ども達の自己肯定感を高めることにつながっていくと思います。是非、ご家庭でもお子さんの今ある姿を認め、どんな姿になっていきたいのかをお子さんと一緒に考える時間を持っていただきたいと思います。

さて、卒業式まで中学校は2週間、小学校は3週間をきりました。33名の小学校6年生と24名の中学校3年生は、この一年間、最上級生として立派に学校を引っ張ってくれました。縦割り班活動で下級生を優しく導いてくれた姿や、学校全体のことを考えて委員会活動や生徒会活動を頑張っている姿など、どの姿も小学校生活6年間、中学校生活3年間の成長が感じられる立派なものでした。学校生活を通じて学んだこと、経験したこと、気づいたこと、それらすべてが、これからの生き方につながっていくものと確信しています。思い出に残る卒業式となるように、児童、生徒、教職員で心をこめて準備をすすめていきます。

最後になりましたが、この一年間、本校教育にご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、また、応援し支えていただきました地域の皆様、関係諸機関の皆様、すべての皆様に心より感謝申し上げます。

中学校1年生がキャリア教育を実施

2/5(月)と2/6(火)の2日にわたり、キャリア教育の一環として、中学校1年生が3名のゲストティーチャーから、仕事の話の話を聞きました。2/5(月)は、ツアーコンダクターの片山 心さんとペットブリーダーの大東 裕美さんが、2/6(火)は、元プロ野球選手で現高校教員の染田 賢作さんが、自身の仕事との出会いや仕事との向き合い方についてお話ししてくださいました。生徒は、それぞれのゲストティーチャーのお話から、キャリア形成にはさまざまな形が存在するを感じ取ることができたのではないかと思います。中学校2年生で職場体験をする際に、また、その後の自身のキャリア形成に、今回の学びをしっかりと生かして行ってほしいと思います。



老人会の方々へのおもてなし

2/20(火)は、今年度最後の茶道教室がありました。小学校6年生の児童らが老人会の方々を学校へ招待し、小学校生活のさまざまな場面でお世話になったことへの感謝の気持ちを込めておもてなしをしました。まず、代表の児童が老人会の方々を茶室へ案内し、小学校6年間の茶道教室で学んだことを活かして、お茶でおもてなしをしました。代表の児童がお点前を披露し、点てたお茶のお運びも児童が担当しました。それから、感謝の気持ちを綴った手紙をお一人お一人にお渡しし、気持ちを込めて全員でリコーダーを演奏しました。



改めて、老人会をはじめ、さまざまなボランティアの方々には、いつも本校の教育活動を支えていただき、ありがとうございます。今後も連携を密にして、子どもたちのより良い育ちを支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。